

なかま

入園・入学式



プリンストン日本語学校

平成28年度 No.2

平成28年 4月10日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



蛙、カエル、かえる

◆『・・・これから勉強していく皆さんに、大切にしてもらいたいものを紹介します。何でしょう？

さて、最初のカエルの名前は「考える」といいます。勉強の時だけではなく、相手の気持ちを「考える」ことも大切してください。次のカエルの名前は「振り返る」です。自分の良いところも、うまくいかなかったことも「振り返る」ことが大切です。上手に振り返ることができるなら「間違える」ことも大切になります。「間違える」ことを怖がらずに、元気に勉強していきましょう。



中学部・高等部の入学生の皆さん・在校生の皆さん、ご入学・進級おめでとう。皆さんは、もっとたくさんの良いカエル、悪いカエルを見つけることができるでしょう。皆さんには、学校新聞に、井上靖さんの詩を紹介しました。戦後の日本の子どもたちを応援する作品だといえます。是非、一度読んでみてください。・・・』(教育第一部部長の式辞より)



昨年度の卒業式に、「入学式で一緒に読んだ絵本を覚えていますか？」と尋ねた時、かわいい声で「覚えている～」と返ってきました。今年はどうでしょうか？一年間教室でじつくりと、カエルたちと付き合ってほしいと思います。

◆早くも「まちがえる」は、既に5年生の教室にいるようです。5年生の担任前田先生が、年度初めに子どもたちと群読した詩です。おおきくのびていけそうですね。

『教室はまちがうところだ／みんなどしどし手を上げて／まちがった意見を 言おうじゃないか／まちがった答えを 言おうじゃないか／まちがうことを おそれちゃいけない／まちがったものを ワラっちゃいけない／まちがった意見を まちがった答えを／あじゃあないか こうじゃあないかと／みんなで出しあい 言い合うなかで／ほんとのものを見つけていくのだ／そうしてみんなで伸びていくのだ・・・』

『教室は間違うところ』(蒔田晋時)

行事予定表

4月10日 選択教室開始

4月17日 教育課程等説明会15:30
総務連絡会議

4月24日 写真撮影(計画は来週号掲載)

5月1日、8日 授業参観、懇談会(計画は後日)



先週は、在ニューヨーク日本国総領事館領事部長 石塚勇人様にご臨席いただき、平成28年度の本校の入学・入園式が行われました。61名の入学生、16名の入園生を迎え、今年度は333名の「なかま」たちでプリンストン日本語学校はスタートすることになりました。休講であったJASL、ADULTコースを除く子どもたちが、新生を温かく励まし、また、理事会・父母会・保護者・係の皆さんには新生をお祝いするとともに、在校生の新たな出発を心から応援していただく機会となりました。

毎年、こうした行事には多くの保護者の皆さんのご協力をいただいています。開始の何時間も前から会場設営をされ、片時も離れず式典を支えていただいている会場係の皆さん。ホールの片隅で、式の進行をサポートしていただく音響係の皆さん。式場の生花も、保護者の方のお力でした。リー理事長のご祝辞に「それぞれ役割があること」というお話がありましたが、多くの人に支えられて実施させていただいた入学・入園式。児童・生徒の皆さんもしっかりと自分のやるべきことに取り組んでいきましょう。

